

科目名	メディアコンテンツ特論	英文表記					20120325		
科目コード	6305								
教員名:西村篤 技術職員名:なし						作成			
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間			
全コース	専1	選択	学修	2単位	講義	後期			
科目目標	メディアコンテンツの表現内容と技法は、それを取り巻く政治的・社会的状況、また受け入れる側のライフスタイルや価値観によって大きく影響を受ける。本講義では地域社会におけるメディアコンテンツの果たす役割について事例を通じて学ぶと同時に、参加者自身が関連するテーマを選択して発表と討論を行うゼミナール形式で理解を深める。								
総合評価	(1)各単元ごとに課すレポートの内容(40%) (2)発表時に作成するレジュメの内容(20%) (3)期間中の学習についてのレポート(40%) により評価する。								
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法					
	①	メディアコンテンツの価値についてエゴロジカルな観点から考えることができる。(A-3)	⇒	レポートと発表によって評価する。					
	②	メディアコンテンツの社会的応用について自分の意見を持ち、他者と交換することができる。(A-3)	⇒	レポートと発表によって評価する。					
	③		⇒						
			⇒						
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	○	○	○	JABEEプログラム教育目標			A-3	
授業概要、方針、履修上の注意	【授業概要】メディアコンテンツが、特定の媒体に特化したデータではなく、社会の中で主体と環境の関係性によって生じる意味や価値の世界であることを身を持って体験しようとする。【授業方針】そのため、この授業では担当教員による学説や事例の紹介とともに、受講生自身が主体的に自分の考えや感性を形成していけるように、ゼミナール、ワークショップなど参加型の授業形式を導入する。ゼミ形式の討論では、担当学生によるプレゼンテーションをもとに、出席者全員が討論を行う形式を採る。【履修上の注意】この授業では問題を個人的な問題と結び付け、自ら感じたり考えたりすることが重要であるので、主体的な取り組みを心掛けて欲しいと思います。								
教科書・教材	事前に購入しなければならない教科書はない。教材としてプリントを適宜配布する。								
授 業 計 画									
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容					自学自習 (予習・復習)内容	
1	ガイダンス	2							
2	コンテンツ制作と技術	2	コンテンツ制作技術の発達について講義形式で学						
3	コンテンツ制作と社会	2	プロパガンダ、研究方法など多様なコンテンツ応用事						
4	コンテンツ制作と環境	2	メディア表現と環境問題の関係について、サウンドス						
5	事例研究	2	作品の研究						
6	ゼミ形式討論(1)	2	受講生がテーマを選択して話題提供し、参加者全員で討論を行う。						
7	ゼミ形式討論(2)	2							
8	ゼミ形式討論(3)	2							
9	ゼミ形式討論(4)	2							
10	事例研究(2)	2	作品の研究						
11	ゼミ形式討論(5)	2	受講生がテーマを選択して話題提供し、参加者全員で討論を行う。						
12	ゼミ形式討論(6)	2							
13	ゼミ形式討論(7)	2							
14	ゼミ形式討論(8)	2							
15	総括	2	授業全体のまとめを行う。						

学習時間合計		30	実時間	22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)			標準的所用時間(試行)	
①	授業で学んだことを復習するとともに、自分の考えをまとめて、レポートを提出する。		60分×9回	
②	企画・発表準備		360分×2回	
③				
備考欄				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)